

平成23年度事業報告及び附属明細書

1 法人の概況

(1) 設立年月日

平成23年3月4日

(2) 定款に定める目的

この法人は、平成22年4月以降において宮崎県内で発生が確認された口蹄疫（以下「平成22年口蹄疫」という。）により重大な影響を受けた県内経済及び県民生活の早期の復興及び再建を図ることを目的とする。

(3) 定款に定める事業内容

- ① 県内市町村における平成22年口蹄疫からの復興の取組を支援する事業
- ② 平成22年口蹄疫に起因する県、県産品等のイメージダウンを回復するために行う観光振興事業
- ③ 平成22年口蹄疫に伴い影響を受けた商工業の回復を図るために行う事業
- ④ 平成22年口蹄疫に伴い影響を受けた畜産業の六次産業化、農商工等連携を推進する事業
- ⑤ 家畜防疫体制の強化に関する事業
- ⑥ 前各号に掲げるもののほか、平成22年口蹄疫からの復興対策のために必要な事業

(4) 主たる事務所

宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号

(5) 役員等に関する状況

8ページのとおり

(6) 職員に関する状況

- | | | |
|---------|----|----------------------|
| ・ 事務局長 | 1名 | 宮崎県農政水産部畜産・口蹄疫復興対策局長 |
| ・ 事務局次長 | 1名 | 同 復興対策推進課長 |
| ・ 事務局員 | | |
| 派遣職員 | 1名 | |
| 嘱託職員 | 1名 | |

2 事業の状況

(1) 事業の概要

- ① 団体数 41団体
- ② 件数 50件
- ③ 助成等金額 316,429,580円

(助成事業の内容)

- ① 市町村復興支援事業 69,994,000円 (6団体、6件)
西都・児湯広域復興支援
西都・児湯地域の市町村が、広域的な統一コンセプト「地域資源を生かした
産品・拠点づくりによる交流人口の拡大」に基づき企画・提案した拠点整備に
係る実施設計費や整備費
- ② みやざき観光再生事業 101,041,490円 (2団体、4件)
県のイメージアップに資する事業、修学旅行や古事記編纂1300年等に係る誘
致対策及びスポーツキャンプ対策等の国内外からの誘客を図る取組並びに地域
における観光客増加につながる取組等
- ③ 商工業等経済復興支援事業 40,342,000円 (4団体、10件)
ア 地域商工業等経済復興支援
商談会の開催等の販路拡大、地域の需要拡大につながる物産市、新商品の開
発等、県内経済の活性化に資する事業
イ 金融対策支援
市町村が実施する創業・事業拡大などの設備資金等の県・市町村融資制度に
係る利子補給又は信用保証料補助
- ④ 産地構造・産業構造転換推進事業 50,000,000円 (1団体、1件)
畜産物の付加価値を高める6次産業化に係る施設整備等
- ⑤ 家畜防疫・経営再開推進事業 23,460,875円 (1団体、1件)
食肉の消費拡大を図るための宮崎県産牛肉を対象としたプレミアム牛肉商品券
の発行
- ⑥ その他 31,591,215円 (27団体、28件)
ア 連携・協働復興支援
児湯地域におけるNPO法人等による「こころと身体のケア」に資する取組
イ 防疫・畜産振興研究等支援
大学が行う口蹄疫の疫学解析等の家畜防疫、家畜肉質評価技術の確立等の畜
産振興に資する研究や産業動物の取扱に関する教育プログラムの開発等
ウ 口蹄疫終息・復興アピール支援
口蹄疫終息・復興等に係る消費拡大や情報発信等に資するイベント開催

○詳細は別添資料2のとおり

(2) 資金調達の状況

平成23年 3月10日	基本財産	1千万円	宮崎県からの出捐
3月18日	特定財産（運営費）	4千万円	宮崎県からの出捐
3月29日	特定財産（事業費）	1千億円	宮崎県からの無利子貸付

(3) 重要な契約の締結

① 県貸付金に係る金銭消費貸借契約書

- ・契約の相手方：宮崎県知事 河野俊嗣
- ・契約日：平成23年 3月18日

② 貸付債権譲渡契約書

- ・契約の相手方：宮崎県信用農業協同組合連合会 代表理事理事長 宮崎幸雄
- ・契約日：平成23年 3月29日

(4) 評議員会及び理事会の開催状況

① 評議員会

ア 評議員、理事及び監事選任に係る書面決議

- ア) 日 時：平成23年 4月22日（決議日）
- イ) 内 容：評議員の選任等について

イ 平成23年度定時評議員会

- ア) 日 時：平成23年 5月30日（月）
- イ) 場 所：ホテルプラザ宮崎別館 2階ロイヤルホール
- ウ) 内 容：平成22年度事業報告及び決算について
公益認定に係る定款変更について 等

ウ 理事、監事及び評議員の報酬等の支給基準に係る書面決議

- ア) 日 時：平成23年 6月29日（決議日）
- イ) 内 容：理事、監事及び評議員の報酬等の支給基準について

エ 平成23年度臨時評議員会

- ア) 日 時：平成23年 7月13日（水）
- イ) 場 所：宮崎県庁本館 3階特別室
- ウ) 内 容：宮崎県口蹄疫復興財団の今後の事業について
平成23年度事業計画について 等

② 理事会

ア 会計監査人の報酬の額に係る書面決議

- ア) 日 時：平成23年4月15日（決議日）
- イ) 内 容：平成22年度に係る会計監査人の報酬の額について

イ 平成23年度第1回通常理事会

- ア) 日 時：平成23年5月24日（火）
- イ) 場 所：宮崎県庁本館3階特別室
- ウ) 内 容：平成22年度事業報告及び決算について
公益認定申請について 等

ウ 平成23年度臨時評議員会の召集に係る書面決議

- ア) 日 時：平成23年6月22日（決議日）
- イ) 内 容：平成23年度臨時評議員会の召集について

エ 平成23年度臨時理事会

- ア) 日 時：平成23年7月12日（火）
- イ) 場 所：宮崎県庁本館3階特別室
- ウ) 内 容：宮崎県口蹄疫復興財団の今後の事業について
平成23年度事業計画について 等

オ 会計監査人の報酬の額に係る書面決議

- ア) 日 時：平成23年12月28日（決議日）
- イ) 内 容：平成23年度に係る会計監査人の報酬の額について

カ 平成23年度第2回通常理事会

- ア) 日 時：平成24年2月22日（火）
- イ) 場 所：宮崎県庁本館3階特別室
- ウ) 内 容：平成24年度事業計画について
平成24年度収支予算について 等

役員等に関する状況

【評議員】

	役職名	氏 名	所属団体等
1	評議員長	河野 俊嗣	宮崎県知事
2	評 議 員	長峯 誠	宮崎県市長会 副会長
3	評 議 員	黒木 定藏	宮崎県町村会 副会長
4	評 議 員	原田 宏	宮崎大学 副学長
5	評 議 員	羽田 正治	宮崎県経済農業協同組合連合会 代表理事会長
6	評 議 員	岡崎 誠	(社)宮崎県商工会議所連合会 副会頭
7	評 議 員	中下 和幸	宮崎県商工会連合会 副会長
8	評 議 員	佐藤 勇夫	宮崎経済同友会 代表幹事

【理事・監事】

	役職名	氏 名	所属団体等
1	理 事 長	牧元 幸司	宮崎県副知事
2	常務理事	岡村 巖	宮崎県農政水産部長
3	理 事	見戸 康人	宮崎県農業協同組合中央会 常務理事
4	理 事	倉掛 正志	(社)宮崎県商工会議所連合会 専務理事
5	理 事	後藤 厚一	宮崎県商工会連合会 専務理事
6	理 事	渡邊 道徳	宮崎経済同友会 副代表幹事
1	監 事	神戸 洋一郎	宮崎県信用保証協会常務理事
2	監 事	稲用 博美	宮崎県総合政策部長

【会計監査人】

役職名	氏 名	所属団体等
会計監査人	清家 秀夫	清家公認会計士事務所

事業名(分野)	メニュー	助成対象団体	事業名	事業概要	助成額等	実施状況	成果等
1 市町村 復興 支援事業	(1) 西都・児湯 広域復興支援	高鍋町	花守山整備事業	高鍋大師周辺の植栽及び特田古墳群との一体的な整備(散策道、駐車場、グランド)の整備 H23:高鍋町観光協会が行う測量設計委託への補助	8,000	設計委託済(繰越) (10月設計終了予定)	①西都・児湯地域の市町村が連携して「地域資源を生かした産品・拠点づくり」による交流人口の拡大を統一コンセプトとして定め、有機的に結びつけた地域の交流人口の拡大に向けた拠点整備を実施 ②「①」の具体的な動きとして、各拠点を結びつける観光ルールの開発など、各市町村の取組を有機的に結合させて交流人口の拡大につなげるため、域内の市町村、商工団体及び観光団体が構成する「さいとこゆ観光ネットワーク」が平成24年5月に新たに設立するなど連携を強化する動きが本格化
		新富町	しんとみスカイパーク構想事業	「カハーク」をコアにした町全体の振興、新田原基地を観光資源として活かすための西都・児湯地域における集客の核となる拠点を整備 H23:基本構想策定	8,646	設計委託済(繰越) (10月構想策定終了予定)	
		西米良村	村所駅周辺整備事業	バスの発着場である村所駅を交流スペースなどの総合交流拠点機能を持った「新村所駅」として整備 H23:交流スペースの整備	27,007	工事契約済(繰越) (8月整備終了予定)	
		木城町	交流人口拡大戦略観光施設整備事業	スポーツ大会誘致等のため、中八重緑地公園の施設整備、木城温泉館(湯から)屋外施設等の整備を実施 H23:中八重緑地公園の防犯ネット等整備	16,075	整備終了 ～平成24年3月	
		川南町	運動公園の総合的整備	総合運動公園内の屋根付き多目的運動施設の整備及び東運動公園に隣接する施設の改修・整備 H23:屋根付き多目的運動施設の設計及び地質調査	4,666	設計委託済(繰越) (5月設計等終了予定)	
		都農町	にぎわい拠点整備事業	道の駅関連の物産館加工施設、観光交流施設、歩道橋整備 H23:施設整備に係る設計委託	5,600	設計委託終了 ～平成24年3月	
合計		6団体 6件			69,994		
2 みやざき 観光再生 事業	(1) 県域観光再生	(公財)みやざき 観光コンベン ション協会	イメージアップイベント開催等 支援	①情報発信力のあるイベントとのタイアップ協賛 ②大手映画会社制作予定の映画の撮影等経費に対する支援	30,573	①東京ガールズコレクション ：平成23年12月23日開催 ②ロケ等の支援を実施：10月	①全国への大きな情報発信、若い女性層への誘客効果 来場者：約5,150人、広報換算：約6億円 ②スタック来客：延べ700人、新聞計11紙で記事掲載
			修学旅行や古事記編さん1300年 等に係る国内外誘致対策	①修学旅行の企画集作成、セールス ②古事記編さん1300年にあたり神話等のゆかりの事業実施 ③長期休暇取得に对应した旅行商品の作成 ④JRの熊本・宮崎・鹿児島デスティネーションキャン ペーンの誘客効果維持を図る旅行商品作成 ⑤大震災等により減少傾向の海外観光客の誘客	39,306	①ガイドブック作成、招聘事業、 セールス：1～3月実施 ②神話巡りのイベント、ポスター作成、 映像イベントの開催：3月 ③大手企業等が会員の専用webで特設 サイト作成等 ④旅行社がバック商品を作成 ⑤(韓国) ・韓国旅行社合同旅行商品販売等 ・宮崎観光地のポスター作成 ・ラッピングバス等広告 (台湾) ・中華航空本社社長訪問・台北謝恩会参加者80名 高雄3社・香港2社旅行社訪問を実施 ・到着ゲスト128名、出発ゲスト120名記念品贈呈 業界関係者40名参加 ・商談会参加旅行社：台中60社80名・台北80社100名	①ガイドブック1千部作成、招聘事業11名、セールス：5回 ②ワンポイント：751名(20回)、ポスター：2千枚、 映像イベント：約1万人 ③月間1000万レビューの専用web及び会員50万人へのメル マガ送信 ④集客実績：約3,350名 ⑤(韓国) ・247名送客、ポスター：2千枚作成 ・バス：5台×1ヶ月間運行、 ・宮崎観光地・釣り場案内等特別番組4回放送 (台湾) ・中華航空本社社長訪問・台北謝恩会参加者80名 高雄3社・香港2社旅行社訪問を実施 ・到着ゲスト128名、出発ゲスト120名記念品贈呈 業界関係者40名参加 ・商談会参加旅行社：台中60社80名・台北80社100名
			スポーツキャンプ・コンベン ション等強化対策	①スポーツイベント等開催支援、広報等の充実 (ソーシャルメディア等の活用) ②コンベンションの受け入れに対する補助	16,162	①ソーシャルメディアを活用した春季 キャンプ誘客キャンペーン ②コンベンションの受入補助	①ソーシャルメディアにより5万人以上が情報活用 ・巨人VS広島：17,339人 ・広島VSソフトバンク：4,152人 ・ソフトバンクVS広島：9,530人 ②コンベンション関連宿泊数：12,981人(15件)
			地域観光支援	①市町村や地域団体等が実施する各地域における宿泊者や 観光客数の増加に資する取組への助成 ②全国に情報発信できるテレビ等を活用した取組への助成	86,041	①各地域からの提案10件を採択 ：平成23年12月27日 ②延岡西日本マラソン情報発信 ：平成24年2月12日	①延べ参加者数：43,222名 ②テレビ局九州7局、BSフジ全国生中継で誘客のCM放送 県内外の視聴：約195万世帯
合計		1団体 3件			15,000		
合計		101,041	4件				

平成23年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

単位：千円

事業名(分野)	メニュー	助成対象団体	事業名	事業概要	助成額等	実施状況	成果等
商工業等 経済復興 支援事業	(1)	(社)宮崎県商工 会議所連合会	①宮崎食材・食品販路拡大事業	東京のホテル内レストランで次の事業を実施 ①「宮崎食材フェア」、物産市「みやざき街市」 ②バイヤーを訪問する「ミニ商談会」の開催 ③販路拡大への支援	1,400	①開催：平成23年10月17日～21日 ②開催：平成23年10月18日 ③参加企業をフォローアップ ：平成24年3月	①宮崎フェア及びみやざき街市の参加者：600名以上 ②出店業者のうち6社がバイヤー企業3社を訪問・商談 うち1件が成約 ③バイヤーから営業手法や商品提案方法の情報等を得 得 ・来場者：約6千人 ・市内15地区の地域の食材を使用した伝統・創作料理の出 品を通じ、地域資源の見直しや商品化への可能性の ・地場産品のPRや中心市街地の活性化に寄与 ・「てげうま国際夜市」 来場者：1万人以上 ・常設店舗：来客数3,000人/月、売上：200万円/月 ・新規雇用8名(パート)
			②さいと食の大運動会 〔間接補助 西部商工会議所〕	西都市の食材を使った地域ごとの創作料理や伝統料理のコン テスト等	3,991	イベント開催：平成24年2月12日	・「てげうま国際夜市」 ・商品開発：平成23年10月 ・「てげうま国際夜市」での販売 ：平成23年11月 ・常設店舗開設：平成23年11月11日
			③宮崎の畜産を使った食肉加工 食品/サービス(マイエールン ドッグ/版称) 〔間接補助〕	ドイツバイエルン州から技術者を招き、宮崎の畜産を利用 したソーセージ等の加工食品開発、イベントでのPR等の取 組	3,191	商品開発：平成23年10月 ：平成23年11月 ・常設店舗開設：平成23年11月11日	・来場者：約6千人 ・市内15地区の地域の食材を使用した伝統・創作料理の出 品を通じ、地域資源の見直しや商品化への可能性の ・地場産品のPRや中心市街地の活性化に寄与 ・「てげうま国際夜市」 来場者：1万人以上 ・常設店舗：来客数3,000人/月、売上：200万円/月 ・新規雇用8名(パート)
			④口蹄疫復興商工会連合会設立 50周年等イベント 口蹄疫復興がんばれ宮崎! 東日本大震災復興がんばろう 日本!	本県経済の早期復興と東日本大震災復興支援のために県内 39商工会の特産品を一同に集めた展示・販売、農工商連携 認定企業事例展示及び販売、ご当地グルメランキング競 技、岩手わんこそば選手権 等	4,447	開催：平成23年11月5～6日	・来場者数15,000人(2日間) ・物産売上 約340万円、グルメ売上 約100万円 ・物販販売による消費者ニーズの把握 ・商工会の連携進展、会員企業の情報発信の増大
			⑤口蹄疫復興地域商工業誘致 支援調査事業	商工業誘致のための商工会地域内の空き店舗・空き工場の 調査、譲渡や賃貸の可否等のデータベース化(情報発信、 マッチング等の支援)	2,419	空き店舗等の調査終了 データベース化を構築	・72物件を調査、データベース化 ・貨物件(44件～8商工会)、売物件(10件～10商工会) ・用途や物件写真の掲載による新規創業や企業誘致等への 活用 ・来場者数：8,500人、売上：330万円 ・県北部地区商工会45店舗が出店による海・山の幸とバラ ンスのとれた幅広い物産展の構成が実現 ・県北部地区の商工会との連携も進展
地域商工業等 経済復興支援 *提案公募型 助成事業	(2)	宮崎県商工 連合会	③やっちゃるばい門川 口蹄疫復興イベント物産展 〔門川町商工会〕	門川町内業者による地元で採れた食材の出展、門川どれ を意識した「はも井」「魚うどん」等の販売及び近隣市町 村と連携した「B級グルメ」及び物産品の出展	1,253	物産展開催：平成24年2月6日	・来場者数：1300人 ・売上：65万円 ・近隣7市町村からの出展による広域連携の進展 ・町以外からの多数の来場者による商圏の拡大に寄与
			④特産品GATHER・TOGATHER 〜秋水百万円 とうこう事業 へ秋水百万円 道路を疾駆する!〜 〔奥郷町商工会〕	秋水を活かした特産品共通ブランド化のための専門家を招 いた及び販路開拓 へいたしたパッケージの研究・試作及び国道 327号沿線市町村の特産品等を一同に集めた販売及び消費 拡大に資する焼肉展の開催	611	物産展開催：平成23年12月11日	・抽選会来場者数：665名 ・売上：1,000万円 ・抽選券発行等寄出しによる地域の購買の増大及び商店会 周辺の賑わい創出に寄与
商工業等 経済復興 支援事業	(3)	宮崎県中小企業 団体中央会	⑤きたかた特産 WakuWaku PR市〜知ってください! きたかたの特産品 〔北方町商工会〕	町の優れた特産品をアピールするための北方の食品・工業 品等のPR市の開催及び29店舗による初の共同販売促進 イベント	620	平成24年12月10～30日 実施	食品産業への支援を通じ、本県農林水産物を活用した商品 開発及び県外への販路拡大により、県内産業の振興や雇用 創出など、口蹄疫等からの復興に幅広く寄与 ・売上：4億円超(424、H25各年度) ・一部商品はイオン九州でも販売中 ・雇用：新規雇用4名 今後9人の新規雇用予定 ・口蹄疫発生地域の農家の売上4千万円以上を予想 その他、県内の農産物の利活用により大きく寄与 ・コーディネートによる定期的な助言・指導等のフォロー による効果の増大
			採択12件：平成23年12月6日 ①「コラーゲンヨーグルト」、「乳酸菌飲料」を 3月に発売開始(乳酸菌飲料はキャ ラクターを利用したパッケージのデ ザインを開発)、販売開始 ②児湯地域のお茶、ミニトマト、人 参を使用し、贈答用の5本パッケージ商 品を開発、販売開始 ③ヒメネガー、県産野菜を活用したピク ルス、県産卵を使用したマヨネーズ ・県産しよがを使用した携帯お餅 ・トリリング等を3月までに開発、4月か ら販売開始 ④試作品が完成し、パッケージ開発を 経て商品化にさらに取組	22,388	産業支援財団が市町村への募集 平成24年度から21市町が実施予定		
金融対策支援	(4)	3団体 9件	商工業経済復興金融支援事業	中町村が実施する創業・事業拡大などの設備資金等の具 市町村融資制度に係る利子補給又は信用保証料補助への助 成	40,320		
			合計	合計：4団体 10件	40,342		

平成23年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

事業名(分野)	メニュー	助成対象団体	事業名	事業概要	助成額等	実施状況	成果等
4	産地構造・産業構造転換推進事業	(株)ミヤチク	宮崎加工流通センター施設整備事業	同社佐土原工場における惣菜の製造ラインの新設	50,000	惣菜加工施設、惣菜製造機械、浄化槽整備：平成24年3月完成	ハンバーグ、メンチカツ生産量：月間10万個 ウチ、モモなどの食肉の低級部位の高付加価値化を通じた農家の所得向上 ・新規雇用：6名
	合計	合計：1団体 1件			50,000	-	
5	畜産経営再開等支援	(社)宮崎県畜産協会	みやぎき再生・復興プレミアム牛肉商品券発行事業	宮崎県産牛肉を対象とした牛肉商品券に2割のプレミアムを付けて発行し、食肉販売店及び飲食店での利用を通じて食肉の消費拡大を実施	23,461	販売開始：平成23年10月1日 利用終了：平成24年2月29日	発行枚数10万枚 プレミアム額 2千万円、額面 1億2千万円 ・県産牛肉に対する消費者の購買意欲の向上 ・各メディアによるPRを通じた復興の機運醸成
	合計	合計：1団体 1件			23,461	-	
6	連携・協働復興支援 *提案公募型助成事業	NPO法人みんなのくらしターミナル	「ふれあいの居場所」による「このところと身体のケア」と「地域活性化」事業	地域住民の集いの場「ふれあいの居場所」の設置、地域住民や関係機関などで連携した「このところと身体のケア」等の取組	2,000	「ふれあいの居場所」開設：平成23年12月3日	・利用者数：約10人/日 ・住民の不安等に対応できるワンストップ窓口として機能 ・運営主体として地域住民のネットワーク化が進展
	合計	2団体 2件			4,000	-	
6	防疫・畜産振興研究等支援 *提案公募型助成事業	国立大学法人 宮崎大学	産業動物防疫リサーチセンター関連研究	テーマ1：家畜防疫 A) 口蹄疫の疫学解析 B) 家畜感染症流行状況把握の検査ツール開発と実態調査 C) 産業動物重要感染症フリー地域モデルの開発 テーマ2：畜産振興 A) 家畜養育能力の向上 B) 家畜肉質評価技術並びに優良種雄牛の選別にに関する研究 C) 家畜および家畜飼育形態の改良と技術開発 テーマ3：産業動物の取扱及び防疫に関する教育プログラムの開発・研究	17,928	①リーフレット作成：平成24年3月 ②医療関係者を対象とした研究報告会：平成24年2月開催 ③災害時のメンタルヘルズ講演会：平成24年3月開催	①リーフレット4種、1500~4000部 ②研究報告会：参加者約90名(見込み) ③参加者約100名(見込み) ・支店活動の標準化・情報共有による災害時の基礎疾患悪化やPTSD等の発症防止や緩和の効果を期待
	その他	1団体 1件			17,928	-	
6	口蹄疫復興アドバイザー支援	市町村イベント実行委員会等	口蹄疫復興イベントに対する助成	口蹄疫終息等を契機に県内各地で行われる畜産物の消費拡大イベントの開催に対する助成(30万円/件)	5,935	22市町村(23件)が実施：平成23年8月から	・県産牛肉等に対する消費者の購買意欲の向上 ・県内各地域における口蹄疫からの復興の機運の醸成
	合計	23団体 24件			7,935	-	
6	財団法人実施事業	シンポジウム開催ほか	シンポジウム開催ほか	口蹄疫被害の集中した児湯地域における家畜の再導入開始等に当たり、復興・復興の機運を高めるための講演やシンポジウムの開催及び事業関連事務経費	1,728	講演及び再生・復興に向けたシンポジウム開催：平成23年11月8日	・来場者数：約400人 ・メディアとジョイントした効果的な情報発信 ・再生・復興に向けた新たな芽生えの発表による機運醸成
	合計	合計：27団体 28件			31,591	-	
総計	合計	総計：41団体 50件			316,429	-	

単位：千円